



# TCU ダイバーシティ通信 vol.12

共に学び、共に働き、共に築く



## CONTENTS

- p.1 ダイバーシティ推進室長からのご挨拶
- p.2 2023年度 委員・室員の紹介
- p.3 リケジョ進路選択応援プログラムの活動報告
- P.4 第10回 イクボス連載企画 早坂 信哉先生
- P.5 ダイバーシティ(多様性)に関する理解度チェック結果報告
- p.7 SDGs 図書館展 / ダイバクッキー配布の報告
- p.8 コラム「窓」/ KAIZEN コーナー

※見出しをクリックすると該当ページに移動します

### 伊東室長からご挨拶



ダイバーシティ推進室長  
伊東明美

平素はダイバーシティ推進室の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

当室では環境整備、意識改革および次世代育成のために様々な活動を実施しております。例えば、昨年度より、土日祝日出勤日の一時託児サービスの試行をスタートいたしました。是非ご活用頂き、ご意見を頂ければ幸いです。

今年度は、教職員には「SOGI チェックリスト」および「ダイバーシティチェックリスト」を、学生には「アンコンシャスバイアスチェックリスト」を配信する予定です。アンケート結果や頂いた自由意見は、今後の推進室の活動内容を決定する重要な指針となっておりますので、ご協力下さいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

昨年度、本学学生を対象にダイバーシティ推進室のマスコットキャラクターを公募し、審査の結果、「ダイバ」が選出されました。推進室のHP等、そこそこに登場することと思いますので、是非とも気に掛けていただき、ご覧頂ければ幸いです。

ダイバーシティ推進室では、今年度も本学のさらなるダイバーシティ推進に向けて室員一同、一丸となって取り組んで参ります。どうぞご協力のほど宜しくお願い致します。



## 2023年度 委員メンバー

委員長 関 良明 副学長

委員 柴田 随道 理工学部長

早坂 信哉 人間科学部長

史 中超 環境学部長

中村 伸之 事務局長

飯島 正徳 学生部長

伊東 明美 ダイバーシティ推進室長

田口 亮 国際委員会委員長

白木 尚人 ダイバーシティ推進室 副室長

水谷 茂樹 学長室長

田辺 晃 学長室課長 「ダイバーシティ担当」

## 2023年度 室員メンバー



室長 伊東 明美  
理工学部  
機械工学科



副室長 白木 尚人  
理工学部  
機械工学科



副室長 張 英夏  
情報工学部  
情報科学科



関口 和真  
理工学部  
機械システム工学科



中川 純  
建築都市デザイン学部  
建築学科



威 泳植  
環境学部  
環境創生学科



小池 星多  
メディア情報学部  
社会メディア学科



山口 敦子  
デザイン・データ科学部  
デザイン・データ科学科



齋藤 圭  
都市生活学部  
都市生活学科



高橋 うらら  
人間科学部  
人間科学科



大沼 友紀恵  
共通教育部  
人文・社会科学



水谷 茂喜  
学長室



立花 秀樹  
国際部



住田 曉弘  
学生支援部



濱田 努  
総務部



小澤 章裕  
YC 総務センター



田辺 晃  
学長室



小松 義直  
人事課



金谷 朗子  
YC 学生支援部  
学生支援センター

2022年度までご協力下さいました委員・室員の皆さま、ありがとうございました！

◆委員 理工学部電気電子通信工学科 岩尾先生、事務局 鳥羽様

◆室員 理工学部電気電子通信工学科 リム先生、国際部 程田様

学長室 山本様、研究推進部 櫻田様

(都市生活学科の林先生は現在育休中です)

※ 部署名は3月31日時点のものです

Thank you!





## 次世代育成 Pj.

### 株式会社 ADEKA 共催「進路選択応援プログラム 2022」を開催しました

2023年3月23日（木）、東京都市大学等々力中学校・高等学校にて「進路選択応援プログラム 2022」（株式会社 ADEKA 共催）を開催しました。

同イベントは、文理選択前の女子中高生を対象に、理工系学部を卒業した女性研究者の職場やその活躍の様子を紹介することで自らの将来像を想像してもらい、進路選択の一助とすることを目的としています。今回は、東京都市大学等々力中学校・高等学校の生徒8名と保護者1名にご参加頂き、昨年度に引き続き同校つばさホールにて実施しました。

はじめに、本学ダイバーシティ推進室の張副室長より本学情報工学部情報科学科の紹介、理系のイメージや理系進学を選択するメリットについてお話がありました。

その後、株式会社 ADEKA の山本氏による会社説明があり、続いて同社・山田氏、磯崎氏より理系を選択したきっかけや実際にどんな仕事しているのか紹介があり、同社・前橋氏の説明により体験学習としてリップグロス作りを行いました。参加者はリップグロスの成分や作り方を教わりながら、自分で材料を混ぜ合わせ、色やパールなどの材料を入れ、それぞれの個性が出たものが完成し、皆さん楽しみながら行うことができました。

最後に4つのグループに分かれて、座談会が行われ、進路の選択、中高の勉強方法や仕事でのやりがいや楽しみなど、多くの質問が飛び交い、大変盛り上がりの中、終了しました。



株式会社 ADEKA <https://www.adeka.co.jp/>

東京都市大学等々力中学校・高等学校 <https://www.tcu-todoroki.ed.jp/>

## 第6回リカジョ育成賞



この度、公益財団法人日産財団の第6回リカジョ育成賞に応募しました。本賞は、科学技術分野の未来を担う理系女子のタマゴとなる理科好き女子（リカジョ）の育成を目指して設立され、理系分野における興味・関心の向上や能力の育成を目的とした活動に授与されます。

結果は受賞となりませんでしたが、下記の通り選考委員よりフィードバックをいただきましたので、一部ご紹介します。

#### 【評価された点】

- ・女子中高生の進路選択応援というストレートな目的とねらいは明解で分かりやすいと思います。またリカジョ育成というと、多くは科学教室などのイベントに女性研究者や女子大学生等が関わるといのが多い中でこの問題に進路選択からアプローチしたことは評価できます。
- ・企業と連携しながら、キャリア支援プログラムを企画しています。評価からもその効果が伺われます。保護者の参加も効果的だと考えます。質問紙調査等から女子への教育効果を明確にすると更に良いでしょう。

#### 【今後に向けて】

- ・今回の2回のイベントはコンパクトではあるものの様々な内容が盛りだくさんです。この取組を回数を増やすだけでなく、教員や保護者、公的機関にも理解してもらえるよう展開していったらいいでしょうか。今後に期待できます。

今回いただいたフィードバックを参考に、今後もより一層活動に取り組んでまいります。



## イクボス連載企画 第10回

多様な人材が活躍するためには、組織全体で意識改革を行い、サポートをしていくことが必要となってきます。子育てに積極的に関わる男性を「イクメン」と呼ぶのに対し、産休や育休などを含んだ個人のキャリアと人生を尊重し、支援する上司（経営者・管理職、男女を問わない）のことを「イクボス」と言います。仕事と生活の両立が図りやすい環境の整備に努めるイクボスが増えれば、組織だけではなく、社会全体も変わっていくのではないのでしょうか。そこで今回は、**人間科学部人間科学科 早坂 信哉 教授**より寄稿いただきました。



### 相手の立場になって考える



教職員が仕事と生活の両立を図るために大切なことは、優しさをもってお互いに相手の立場になって考える、ということだと考えています。

人間科学部の教員は30代から60代まで幅広い世代の先生方が在籍しています。それぞれの世代において生活における課題が変わってきます。就学前のお子さんを育てている先生は保育園への送り迎え、もう少し大きなお子さんをお持ちの先生はお子さんの受験、ご自身のお子さんの卒業式、入学式があります。さらには高齢のご両親の介護の問題も発生してきます。また年齢が上がってくると教員自身さまざまな体調の不調に見舞われることもあります。

釈迦に説法かもしれませんが、そうした折は、教員はお互いに相手の立場になって考え、家庭や生活のためやむを得ず遂行が不可能な校務は他の教員がお互いにカバーすることが大切です。一人で抱え込んで自身の生活を犠牲にして滅私奉公をするようでは勤務も長続きしません。ただ、世代が違ったり立場が異なると相手のご家庭や生活の大変さが理解しにくいこともあります。そこは十分に想像を働かせないといけないと思いつつ、心の余裕がないと相手への配慮ができないこともあります。

ありがたいことに人間科学部では「大変な時はお互い様」の精神で教員同士が自然と快く校務をカバーしあってくださっています。学部長の仕事としては一部の教員に業務が集中しないように調整することに徹しています。

教員自身の、仕事と生活の両立は学生への教育上も必要なことと考えています。学生は教員から教科のことだけでなく、その人生観や考え方、生き方など様々なことを教員から吸収して学んでいきます。仕事のためには生活を犠牲にする、また逆に生活に比重を置きすぎて仕事がうまく回っていないといったライフワークバランスが欠けることがあると、学生に対して良いロールモデルであるとは言えません。教員が心地よく勤務できていないと、学生にもそのことがすぐに伝わり良い授業が展開できません。教育上の観点からも教員のライフワークバランスはとても重要と考えています。

さらに「イクボス」自身のライフワークバランスも重要だと思っています。管理職の業務代行は困難なことも多く、業務が管理職本人に集中してしまい業務過多になりがちです。なんでも学部長、学科主任へ振る、という雰囲気少し変わればよいなと最近感じています。



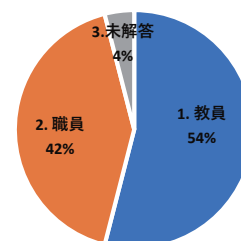


## 2022年度 教職員向け「ダイバーシティ（多様性）に関する理解度チェック」結果報告

- ・実施期間：2023年1月30日（月）～2月17日（金）
- ・対象者：常勤教職員431名
- ・実施方法：WebClass
- ・回答率：49%（回答者212名）※内訳：教員54%・職員：42%
- ・職区分ごとの回答率：教員38%・職員68%

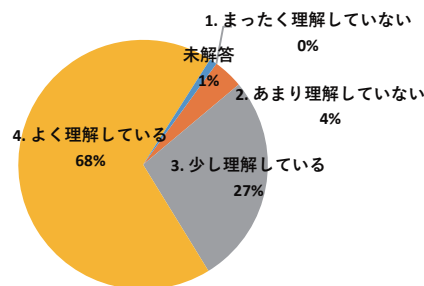
設問1. あなたの教職員区分を教えてください。

	2022年		2021年		2020年		2019年	
1. 教員	54%	114人	58%	141人	60%	144人	58%	132人
2. 職員	42%	89人	36%	89人	39%	93人	40%	92人
3.未解答	4%	9	6%	14人	1%	2人	2%	4人



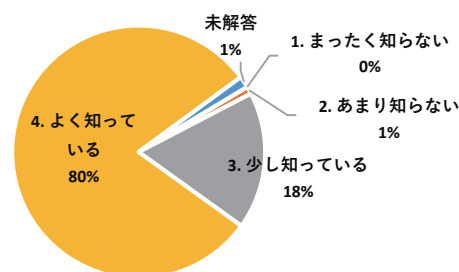
設問2. 大学運営にもダイバーシティ環境の実現を推進することが重要であること

	2022年	2021年	2020年	2019年
1. まったく理解していない	0人	3人	1人	6人
2. あまり理解していない	8人	9人	9人	11人
3. 少し理解している	56人	64人	65人	89人
4. よく理解している	139人	156人	162人	114人
未解答	2人	12人	2人	5人



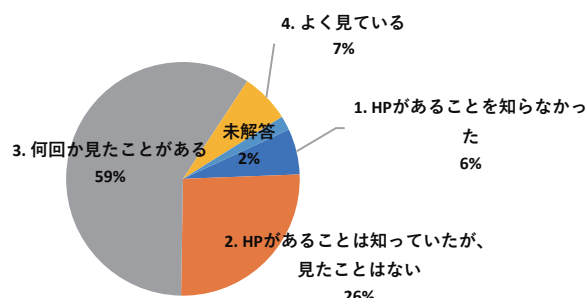
設問3. 本学に「ダイバーシティ推進室」があることを知っていますか？

	2022年	2021年	2020年	2019年
1. まったく知らない	0人	4人	2人	8人
2. あまり知らない	2人	5人	8人	8人
3. 少し知っている	36人	46人	63人	60人
4. よく知っている	164人	179人	164人	143人
未解答	3人	10人	2人	6人



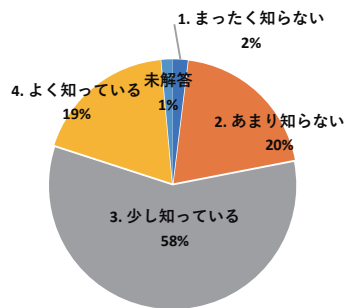
設問4. 本学ダイバーシティ推進室のホームページを見たことがありますか？

	2022年	2021年
1. HPがあることを知らなかった	13人	29人
2. HPがあることは知っていたが、見たことはない	53人	73人
3. 何回か見たことがある	121人	119人
4. よく見ている	14人	13人
未解答	4人	10人



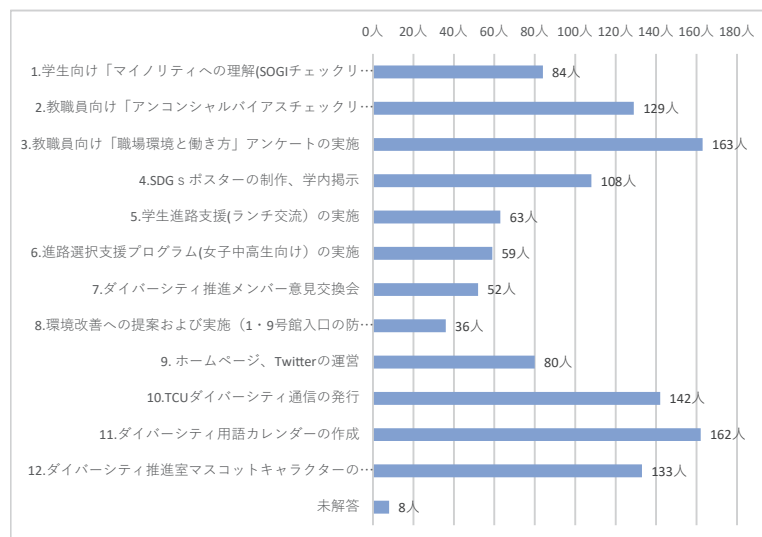
設問5. 本学のダイバーシティ推進室の活動内容を知っていますか？

	2022年	2021年	2020年	2019年
1. まったく知らない	4人	5人	6人	14人
2. あまり知らない	41人	56人	57人	62人
3. 少し知っている	119人	136人	128人	112人
4. よく知っている	38人	35人	45人	31人
未解答	3人	12人	3人	6人



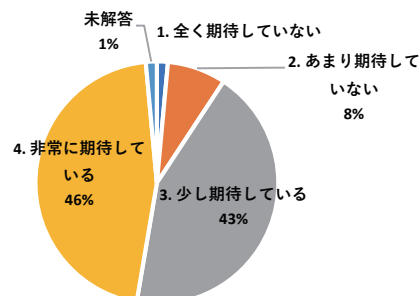
設問6. 以下はダイバーシティ推進室が2022年1月~12月に行った活動です。知っているものを全てチェックしてください(複数回答可)

	2022年	2021年	2020年	2019年
1. 学生向け「マイノリティへの理解(SOGIチェックリスト) アンケートの実施	84人	134人	95人	75人
2. 教職員向け「アンコンシャルバイアスチェックリスト」アンケートの実施	129人	-	-	-
3. 教職員向け「職場環境と働き方」アンケートの実施	163人	-	-	-
4. SDG s ポスターの制作、学内掲示	108人	118人	-	-
5. 学生進路支援(ランチ交流) の実施	63人	75人	103人	116人
6. 進路選択支援プログラム(女子中高生向け) の実施	59人	-	-	-
7. ダイバーシティ推進メンバー意見交換会	52人	-	-	-
8. 環境改善への提案および実施(1・9号館入口の防滑化対策、会議開始時間の変更)	36人	-	-	-
9. ホームページ、Twitterの運営	80人	91人	135人	104人
10. TCUダイバーシティ通信の発行	142人	150人	179人	142人
11. ダイバーシティ用語カレンダーの作成	162人	177人	164人	145人
12. ダイバーシティ推進室マスコットキャラクターの公募・制作	133人	-	-	-
未解答	8人	24人	10人	15人



設問7. ダイバーシティ推進室へのあなたの期待度を教えてください。

	2022年	2021年
1. 全く期待していない	3人	3人
2. あまり期待していない	16人	18人
3. 少し期待している	89人	103人
4. 非常に期待している	94人	110人
未解答	3人	10人



アンケートにご協力頂きました皆様、ありがとうございました！





## 「SDGs と図書館」展を開催

図書館とダイバーシティ推進室の共催で「SDGs と図書館」展を開催しました。SC 図書館 1 階、および YC 図書館の展示コーナーにて SDGs に関連する書籍や、ダイバーシティ推進室で制作した SDGs ポスター等を展示しました。



世田谷キャンパス



横浜キャンパス

## 「ダイバ」クッキーを配布しました

マスコットキャラクター制作を記念して、学食でもお世話になっている NEC ライベックス(株) 様にご協力いただき、「ダイバ」をプリントしたクッキーを作りました。4月12日(水) 14:00 より、SC ナナカフェと YC ベーカリーにて、学生・教職員先着 300 名に無料配布しました。



新入生で賑わう SC ナナカフェ。



学生がデザインしたことを伝えると  
「かわいい!」「すごい」と驚きの声が上がりました



クッキーを笑顔で受け取る皆さん (YC ベーカリー)



「窓」は不定期連載のコラム欄です。窓を開けて風通しを良くしたいという思いから「窓」と名付けました。ダイバーシティに対する思い、ダイバーシティに対する期待等、皆さまからのご投稿をお待ちしております。推進室ではダイバーシティ関連の書物や学外のフォーラム、他大学の取組みなど、幅広く情報収集しておりますので、これらの情報もこちらにてご紹介してまいります。

## インクルーシブダンスとゆるスポーツと

10年以上も前の話だが、小学校低学年の息子を連れて、インクルーシブダンスのワークショップに参加した。そこでは、大人も子どもも障害のある人もない人も、性別、ダンス経験の有無などにもかかわらず、みんなが自分自身のからだで自由に思い思いに表現し合っていた。その名も“みんなのダンス・フィールド”。東洋英和女学院大学教授で身体表現論、舞踊学で専門の西洋子先生が1998年に立ち上げたインクルーシブダンスのコミュニティだ。

曲がりなりにも舞踊教育・ダンスを専門としている自分は、障害のある人やダンス未経験者をリードしなくては…と、勝手に気負って緊張していた。一方、「付いていっただけだよ。踊らないよ。」と言っていた息子は、初めて間近で見る車椅子に興味津々。車椅子の参加者に自ら近づいて行き、フットレスト部分にちゃっかり乗らせてもらい、車椅子の青年と何やら楽しそうに体育館を縦横無尽に動きまわっていた。息子に限らず、そこに参加していた子どもたちは皆、年齢や性別、障害の有無といった違いを自然体で受け入れ体感し、身をもって他者を理解しているようだった。そしてその子どもたちにリードされるように大人もいつしかその大きな流れに身をゆだね、そこには心地よい時間と空間があった。

元来、ダンスは、他者と競い合うことが目的ではなく、「みんなちがってみんないい」。だからこそ、インクルーシブなダンスはイメージしやすい。一方、速さや強さ、巧みさを競うことが多いスポーツにおいて、インクルージョンの実現には、クリアしなければならない課題がいくつもある。それをサラッとやってのけようとしている人達がいる。「スポーツ弱者を世界からなくす」を掲げ、年齢・性別・運動の得手不得手に関わらず、だれもが楽しめ、勝っても負けても楽しい、多様な楽しみ方ができるスポーツを多数提案している。世界ゆるスポーツ協会代表理事でスポーツクリエイター／福祉クリエイターの澤田智洋氏は既存のスポーツを「トップスポーツ」と定義し、それに対し「ゆるスポーツ」を「ポップスポーツ」と定義して、スポーツの日常化を図っている。また、澤田氏は「配慮」や「思いやり」より、「リスペクト」と「面白い」を大事にしたいと語り、そのHPにはなんともユニークなネーミングの種目が並んでいる。

(投稿者：人間科学部 高橋うらら)

出典：

NPO 法人みんなのダンスフィールド：<https://www.inclusive-dance.org/>

澤田智洋他（2020）スポーツ弱者を世界からなくす－「弱み×強み」で見えてくる世界－。

女子体育. 第62巻第12・1月号.6-11.（公社）日本女子体育連盟

一般社団法人世界ゆるスポーツ協会：<https://yurusports.com/>





この発想はなかった！

「話題のロール式生理ナプキン「Egal」のCEOに取材

—生理用品の提供はトイレトペーパーと同じように考えるべき」を読んで

なるほど！と思わず膝を打ってしまいました。是非、このサイト ([https://front-row.jp/\\_ct/17616026](https://front-row.jp/_ct/17616026)) に行つて写真を見ていただきたいのですが、Egal社では、なんと既存のトイレトペーパーホルダーに取り付け可能なロールタイプの生理用品を製造販売しているのです。「トイレトペーパーを持ち歩く人はいないのだから、生理用品を持ち歩く必要もない」・・・確かに。しかも既に欧米の大学等では導入が進んでいるとの事。気になるのは誰が費用を負担しているかですが、個々の大学が負担している事例、自治体などが負担している事例、両方のケースがあるそうです。EgalのフィニーCEOは「これはトイレトペーパーと同じように考えるべき」と述べています。これが世界中のトイレに普及したら、女性達の負担がどれほど軽くなることでしょうか。

(投稿者：ダイバーシティ推進室・伊東)



([https://front-row.jp/\\_ct/17616026](https://front-row.jp/_ct/17616026) より転載)



## KAIZENレポート

### 多目的トイレマップを更新しました

世田谷キャンパスの多目的トイレマップを更新しました。

多目的トイレは、性別を問わずどなたでもご利用いただけます。車椅子等広いスペースが必要な方、手すり・介助を必要とする方などが優先して使えるよう、ご協力をお願いいたします。

ダイバーシティ推進室サイト「東京都市大学多目的トイレマップ」



[https://www.diversity.tcu.ac.jp/wp-content/uploads/sites/9/2023/06/multipurpose\\_toilet\\_map.pdf](https://www.diversity.tcu.ac.jp/wp-content/uploads/sites/9/2023/06/multipurpose_toilet_map.pdf)

### コラム「窓」へのご投稿はこちらから！

皆さまからのご投稿をお待ちしております。  
ぜひ下記リンクよりご投稿ください。

<https://forms.gle/NfRCLbn7WNR5eBg38>



### ご意見はこちらから！

ご意見窓口フォームを開設いたしました。

ダイバーシティに関するご意見をお気軽にどうぞお寄せください。

<https://forms.gle/eUxx6XdtYQS3mKhCA>

